

中学校学習指導要領解説数学編第 1 章 1(1) 改訂の経緯 (p.2) から

1 以下の文章の空白を埋めよ。

中央教育審議会答申においては，“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を（ ）と社会が共有し，（ ）・協働しながら，新しい時代に求められる（ ）・能力を子供たちに育む「社会に開かれた（ ）」の実現を目指し，学習指導要領等が，学校，家庭，地域の関係者が幅広く共有し活用できる「（ ）の地図」としての役割を果たすことができるよう，次の 6 点にわたってその枠組みを改善するとともに，各学校において教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「（ ）・マネジメント」の実現を目指すことなどが求められた。

- ①「何ができるようになるか」（育成を目指す（ ）・能力）
- ②「何を学ぶか」（教科等を学ぶ意義と，教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた（ ）の編成）
- ③「どのように学ぶか」（各教科等の（ ）の作成と実施，学習・（ ）の改善・充実）
- ④「子供一人一人の発達をどのように支援するか」（子供の発達を踏まえた（ ））
- ⑤「何が身に付いたか」（学習（ ）の充実）
- ⑥「実施するために何が必要か」（学習指導要領等の理念を実現するために必要な（ ））

2 内容から解答を導くポイントと考えたことを述べよ。

3 この問題の解答を自己評価し、
気づいたこと、感じたことを述べよ。

■ 5 段階自己評価（ ）

■